

陸上競技場投てき種目実施時の注意事項

1. 適用種目

投てき全種目（ハンマー投げ、円盤投げ、やり投げ、砲丸投げ）

2. ハンマー投げの練習可能日

ハンマー投げは水曜日の午後3時～日没とし、その時間帯にハンマー投げが行われているときは、フィールド内の他の種目の練習は禁止する。

3. 円盤・ハンマー投げ囲い（以下、「囲い」という。）の設置

円盤・ハンマー投げをする場合は囲いの中で練習すること。

※ 囲いの組み立てができない場合は、円盤・ハンマー投げの練習を許可しない。

4. 高校生以下の使用

高校生以下の使用について、指導者がいない場合は練習を許可しない。

5. 投てきを行う際の注意

競技者はこれから自分が投てきを行うという意思表示をはっきりと行った上、周囲の人に意思が伝わったことを十分に確認してから投てきを行うこと。

6. 芝生の管理

投てき終了後には、芝生にできた穴を野球場横（3塁側）に設置している土砂スト
ックヤードの砂で目土をすること。目土は芝生の高さまで入れること。

7. 投てき使用の中止

前日からの雨等による芝生への影響や強風等の悪天候により、運動公園事務所長が使用不可と判断した場合は使用できません。

8. 囲いの使用上の注意事項

- (1) 使用時は支柱（インナーパイプ①）を上げネットを張り使用のこと。
- (2) 使用後は支柱（インナーパイプ①）を、支柱（アウターパイプ②）の位置まで下げること。
- (3) 強風等が予測される場合は支柱を倒した状態で自在キャスター（下記図④）のブレーキを掛け、門口固定パイプ（下記図⑪）を取付けること。
- (4) 使用後は、支柱の破損、ネットの破れ、ワイヤーの状態（変形・破損・錆等がないか）、各部のがたつき緩みなどがないかを確認すること。
- (5) 異常を発見した時には直ちに使用を中止し、事務所まで連絡すること。

